

JDKのインストール

ここでは、OpenJDK 11をWindows 10上にセットアップします。OpenJDKでは、zipファイルをダウンロードおよび解凍し、Path環境変数の設定を行うだけで使用することができます。

》 OpenJDK のダウンロードと解凍

OpenJDKをダウンロードします。

- ① 次に示すダウンロードサイトを開き、左フレームの「Java SE 11」をクリックします。

OpenJDK ダウンロードサイト

▷ URL <http://jdk.java.net/archive/>

jdk.java.net

GA Releases

JDK 13

Early-Access Releases

JDK 14

Jpackage

Loom

OpenJFX

Panama

Valhalla

JMC

Reference Implementations

Java SE 13

Java SE 12

Java SE 11

Java SE 10

Java SE 9

Java SE 8

Java SE 7

Feedback

Report a bug

Archive

Archived OpenJDK General-Availability Releases

This page is an archive of previously released builds of the JDK licensed under the GNU General Public License, version 2, with Classpath Exception.

WARNING: These older versions of the JDK are provided to help developers debug issues in older systems. They are not updated with the latest security patches and are not recommended for use in production.

Releases

12.0.2 (build 12.0.2+10)			
Windows	64-bit	zip (sha256) 188M	
Mac	64-bit	tar.gz (sha256) 182M	
Linux	64-bit	tar.gz (sha256) 189M	
	Source	Tag is jdk-12.0.2+ga	
12.0.1 (build 12.0.1+12)			
Windows	64-bit	zip (sha256) 188M	
Mac	64-bit	tar.gz (sha256) 181M	
Linux	64-bit	tar.gz (sha256) 189M	
	Source	Tag is jdk-12.0.1+ga	

注:JDK のリビジョンアップは随時行われているため、以降の画面や手順が実際とは異なる場合があります。

- ② 次の画面で、[Windows/x64 Java Development Kit (sha256) 178.7 MB] をクリックします。

jdk.java.net

GA Releases
JDK 13

Early-Access Releases
JDK 14
jpackage
Loom
OpenJFX
Panama
Valhalla
JMC

Reference Implementations
Java SE 13
Java SE 12
Java SE 11
Java SE 10
Java SE 9
Java SE 8
Java SE 7

Feedback
Report a bug

Archive

Java Platform, Standard Edition 11 Reference Implementations

The official Reference Implementation for Java SE 11 (JSR 384) is based solely upon open-source code available from the JDK 11 Project in the OpenJDK Community. This Reference Implementation applies to both the Final Release of JSR 384 (Sep 2018) and Maintenance Release 1 (Mar 2019).

The binaries are available under the GNU General Public License version 2, with the Classpath Exception.

These binaries are for reference use only!

These binaries are provided for use by implementers of the Java SE 11 Platform Specification and are for reference purposes only. This Reference Implementation has been approved through the Java Community Process. Production-ready binaries under the GPL are available from Oracle; and will be in most popular Linux distributions.

RI Binary (build 11+28) under the GNU General Public License version 2

- [linux/x64 Java Development Kit \(sha256\) 178.9 MB](#)
- [Windows/x64 Java Development Kit \(sha256\) 178.7 MB](#)

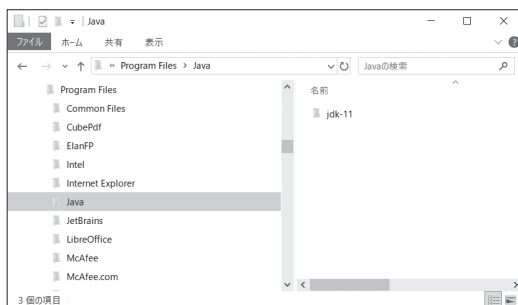
RI Source Code

- ③ 「openjdk-11+28_windows-x64_bin.zip」 がダウンロードされます。

※なお、JDK のバージョン (11+28) が本書と異なる場合があります。

- ④ ダウンロードした zip ファイルを解凍してください。解凍すると「jdk-11」ディレクトリが作成されます。

- ⑤ 本書では、解凍した「jdk-11」ディレクトリを、「C:\Program Files\Java」以下へ配置します。

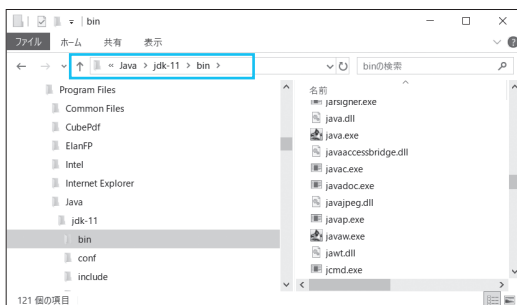


》 Path 環境変数の設定

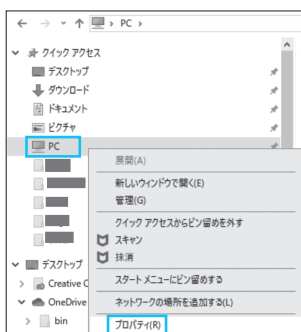
JDKを使用するには、Path環境変数の設定を行う必要があります。環境変数は、どのフォルダで作業をしても、作成したプログラムのコンパイルや実行を簡単に行えるようにするための仕組みです。

- ① あらかじめ、Path 環境変数に設定するパスをコピーしておきます。
「C:¥Program Files¥Java¥jdk-11¥bin」 までディレクトリを開き、パスをコピーしてください。

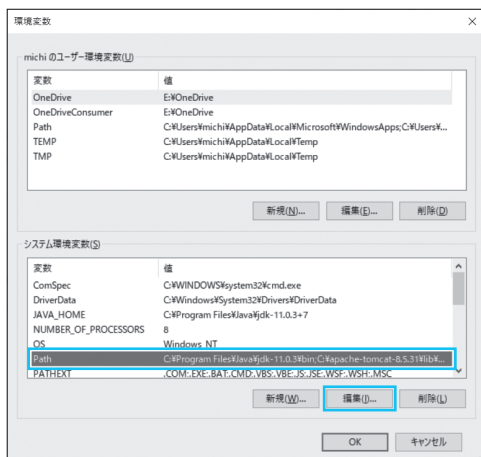
なお、この bin ディレクトリ以下に java、javac コマンドなどが格納されています。



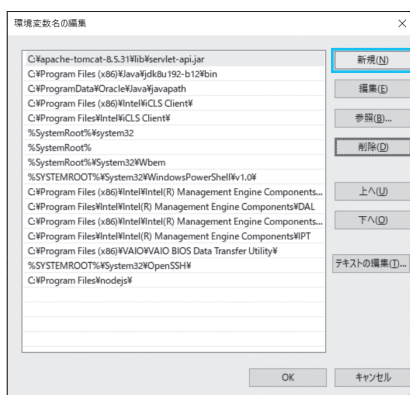
- ② システムのプロパティ画面を表示します。以下の例では「PC」を右クリックし、ショートカットメニューから「プロパティ」を選択しています。



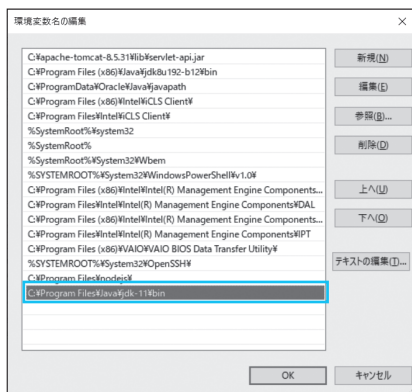
- ⑤「環境変数」ダイアログボックスが表示されます。システム環境変数を設定するために、変数の一覧から「Path」を選択し、「編集」ボタンをクリックします。



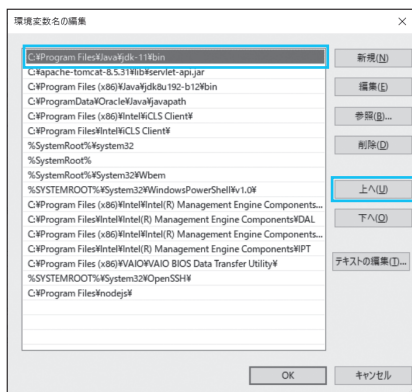
- ⑥「環境変数名の編集」ダイアログボックスが表示されます。「新規」ボタンをクリックします。



- ⑦ あらかじめコピーをしておいた「C:\Program Files\Java\jdk-11\bin」を貼り付けます。なお、ここでは手入力はせず、必ずコピー & ペーストで行ってください。



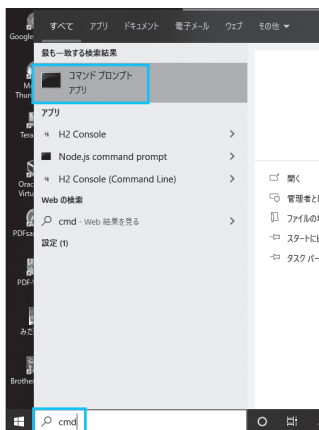
- ⑧ この JDK を優先して使用するように、「上へ」ボタンをクリックし、一番上に配置します。



- ⑨ 設定ができれば、「OK」ボタンをクリックし、画面を閉じます。

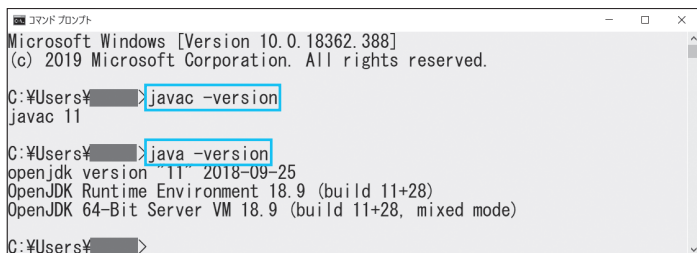
- ⑩ Path 環境変数が正しく設定されているか確認します。まず、コマンドプロンプトを起動します。

Windows の検索ボックスに「cmd」と入力します。検索結果に「コマンドプロンプト」が表示されたらクリックします。



- ⑪ コマンドプロンプトが起動したら、「java -version」とコマンドを入力して [Enter] キーを押し、実行します。

また、「java -version」とコマンドを入力して [Enter] キーを押し、実行します。
以下と同じように表示されれば、正常に Path の設定ができています。



以上で、OpenJDK 11を使用した、JDKのインストールおよびセットアップは完了です。